|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　5.6年 | ボール運動「フリーゾーンサッカー」単元指導計画（案） | 運動場 |
| 単元目標 | 知識及び技能 | ゴール型ボール運動「サッカー」の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解することができるようにする。ボール操作とボーツを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをすることができるようにする。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作成を選んだりすることができるようにする。自分や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えを認めたりすることができるようにする。場や用具の安全に黒を配ったりすることができるようにする。 |
|  | 時間 | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ |
| 学習の流れ | 05103040 | １．整列・あいさつ　　　２．準備運動　　　３．５分間走（自分のペースで５分間を走り切る）　　　　４．めあての確認 |  |
| 【めあて】フリーゾーンサッカーの目標と学習の進め方を知ろう。 | 【めあて】けり方、止め方を知り、パスを回してみよう。 | 【めあて】シュートチャンスをつくって、フリーゾーンサッカーを楽しもう | 【めあて】シュートチャンスを作ろう！！ | 【めあて】作戦を選んだり、立てたりしながら勝利を目指して競い合おう。 | 【めあて】作戦を選んだり、立てたりしながら勝利を目指して競い合おう。 |
| ４ オリエンテーション・学習の進め方・１時間の流れ・場づくり・ルール・グループ５ 基礎感覚運動・ボールタッチ・パスゲーム・シュートゲーム・キープゲーム※単元後半はチームで練習を選択して取り組む。６ 単元の学習課題を立てる。　みんなで目指す姿を共有する。 | 基礎感覚運動・・・ボールタッチ、パスゲーム、シュートゲーム、ドリブル＆シュート※チームで選択して取り組ませるのも可 |
| ４．活動①ボールのけり方や止め方を知り、意識しながら蹴ったり止めたりできるようにする。 | ４．活動①得点する喜びを味わいながらゲームに取り組むことができるようにする。 | ４．活動①前時の学習をふり返りながら、シュートチャンスをつくるための動きを考えながらゲームに取り組むことができるようにする。 | ４．活動①作戦例から選んで実行したり、自分たちで工夫して作戦を立てたりしながら話し合うことができるようにする。 | ４．活動①チームタイムの中でどのような作戦で攻めるのかを話し合い、チャレンジさせる。※スペシャルアタックチャンスの活用＝得点２倍 |
| ５　きらりタイム・・・友だちやチームの動き等から、うまくできるコツや友だちの良い点等を全体で確認する。 |
| ６．活動②フリーゾーンが苦手な子にとっては、「落ち着いてプレーすることができる」、得意な子にとっては「チャンスメイクすることができる」ことを理解させ、効果的な活用について各チームで考えさせる。 | ６．活動②得点するためには、シュートしやすい場所やタイミングに気づくことができるようにする。 | ６．活動②ボールを持っていないときの動きから、得点するチャンスにつながることに気づかせ、自分たちのチームでできそうなことについて考えることができるようにする。 | ６．活動②作戦がうまくいっているチームを取り上げるなどして、友達の良い動きに注目しながらゲームを進めることができるようにする。 | ６．活動②　チームタイムの中でどのような作戦で攻めるのかを話し合い、チャレンジさせる。※スペシャルアタックチャンスの活用＝得点２倍単元の学習を振り返って、**※運動の楽しさや喜びを味わうために取り組んだことを伝え合うようにする**。 |
| ☆ふり返り（できるようになったこと、難しかったこと、どんな動きが楽しかったか、友達の良いところ、頑張りたい事等）必要に応じて実技を結びつける |
| 評価規準 | 知・技 |  | ○ | 〇 |  |  |  |
| 思判表 |  |  |  | ○ | 〇 | ○ |
| 主体的 | ○ |  | ○ |  |  | ○ |

　作成：体育科指導ＣＯ金城　光文書院「体育の学習（5.6年）」参照